

町民の期待

町では、総合計画の策定にあたり、町民の意向を積極的に反映していくため、町民意向調査や分野別まちづくり座談会等を実施してきました。

町民意向調査は町内の全世帯を対象とし、1,509人の方からの回答がありました。

また、分野別まちづくり座談会では、様々な団体などの方々からまちづくりをはじめ、多くのご意見をいただきました。

【松田町の将来に向けたまちづくりでは・・・】

医療・福祉の充実とともに、緑と清流の豊かな住環境を有し、災害に強く、活力のある産業のまちが望まれています。

- ・地域別では、いずれの地域においても「医療・福祉の充実したまち」「緑と清流の豊かな住環境のまち」があげられているほか、松田惣領や松田庶子では「災害に強いまち」、神山や寄では「活力のある産業のまち」が望まれています。

【身近な地域づくりでは・・・】

地域の町民が知り合い、ふれあう機会を自発的に進めていくほか、地域づくりに関する情報の提供や意識啓発、自治会活動やボランティア活動、町や社会福祉協議会の行事等への参加を促していく必要があると感じています。

- ・地域別では、いずれの地域においても地域住民の自発的な活動のほか、地域づくりなどに関する情報の提供や町民の意識啓発、多様な活動への積極的な参加が期待されています。

【町の施策や事業の取り組みへの満足度・必要度では・・・】

「下水道や上水道などの整備」「鉄道運行体制の充実」「ごみの減量、分別収集、リサイクル対策について」などで満足度・必要度の評価が高い一方で、「現在の小田急新松田駅前北口の

整備状況」や「小田急新松田駅前南口の整備状況」「御殿場線松田駅前」の整備状況」「家のまわりの生活道路などの整備」「商工業の振興」「交通安全対策」などで評価が低くなっています。

○満足度・必要度

散布図の横軸に「満足度」、縦軸に「必要度」をとり、その割合を表すとともに、それぞれの基準値(0.00)に基づき、各分野の施策を次の4つの領域に区分しました。

(右図参照)

- ①満足度が高く、必要度が高い領域：ニーズ充足領域
- ②満足度が低く、必要度が高い領域：優先的課題領域
- ③満足度が低く、必要度が低い領域：選択的課題領域
- ④満足度が高く、必要度が低い領域：現状維持領域

上の4つの領域ごとに町民意向調査の結果を整理すると下図のような表になります。

